

令和4年4月14日会議概要

第1 日時

令和4年4月14日（木）午前9時20分から午前11時30分までの間

第2 出席者

森委員長、平林委員、森田委員、増田委員、在田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

初任科（第262期、第263期、職員第35期）入校式（4月8日）

委員から、「4月8日、警察学校において実施された初任科（第262期、第263期、職員第35期）入校式に出席した。式典に臨む学生達の、初々しく、潸刺とした姿がとても印象に残った。学生達には、寮生活を通じて連帯感を養い、将来にわたって助力し合える関係を築くとともに一人の脱落者も出さず、第一線での貴重な戦力となることを期待する。」旨、発言があった。

2 議題

(1) 生活安全部門許可等事務における処分基準の一部改定について

生活安全部長から、民法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、風営適正化法及び出会い系サイト規制法における京都府公安委員会が定める処分基準について、所要の改定を行うことについて説明があり、審議の上、決定した。

(2) 春の連休期間中における山岳遭難の防止について

地域部長から、過去5年間の京都府下における山岳遭難の発生状況及び春の連休に向けた遭難防止対策等について報告があった。

委員から、「毎年、同じような場所で山岳遭難が発生しているが、どのような遭難形態なのか。」旨、質問があり、地域部長から、「事前に十分な下調べをせず、安易に入山することで道に迷い、遭難するケースがある。」旨、回答があった。

他の委員から、「昨年遭難者については、全員救助しているのか。」旨、質問があり、地域部長から、「昨年は、死者ゼロで全員を救助している。なお、救助した37人の内、重傷者は4人、軽傷者2人であった。」旨、回答があった。

他の委員から、「ヘリコプターでの捜索に際しては、発見されやすいよう、遭難者の服装の色が重要だと思う。そのようなことも含め、しっかりと山岳遭難防止の広報をしていただきたい。」旨、発言があった。

(3) 公職選挙法違反被疑者の検挙について

刑事部長から、捜査第二課、南丹警察署及び綾部警察署は、南丹市長選挙を巡り、団体職員の立場を利用し、取引業者に特定の候補者を支援するよう威迫したとして、令和4年4月11日、南丹市居住の男を公職選挙法違反（選挙の自由妨害）で検挙した旨、報告があ

った。

(4) 令和4年度嘱託警察犬嘱託書等交付式の開催について

刑事部長から、令和4年4月19日、警察学校において、令和4年度嘱託警察犬嘱託書等交付式を開催することについて報告があった。

委員から、「厳しい審査を勝ち抜いた嘱託警察犬の活躍に期待する。」旨、発言があった。

(5) 令和4年3月末の特殊詐欺情勢について（暫定値）

刑事部長から、令和4年3月末現在の特殊詐欺の被害認知状況や検挙状況、水際阻止事例、金融機関と連携した還付金詐欺対策等について報告があった。

委員から、「犯人の割出しや検挙は、難しいのか。」旨、質問があり、刑事部長から、「機動捜査隊を集中運用させる等して、被疑者の発見検挙に当たっている。」旨、回答があった。

(6) 運転免許証交付手数料の誤徴収について

交通部長から、複数の運転免許証を持つ者が、その一部に関して取消しを申請した場合には、残りの免許に係る運転免許証については、交付手数料を徴収しないこととされているにもかかわらず、運転免許試験課の担当者が、令和元年度から令和3年度までの間に13件、総額28,050円を誤徴収していた事実が発覚したため、対象者に直接謝罪し、手数料の還付手続きを行うとともに各種再発防止策を講じる旨、報告があった。

(7) 秋篠宮皇嗣同妃両殿下の京都府お成りに伴う警衛警備の実施について

警備部長から、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の京都府お成りに伴う警衛警備の基本方針、体制等について報告があった。

(8) 追加報告

ア 職員のコロナ感染状況について

警務部長から、前回報告以降の京都府警察職員のコロナ感染状況について報告があった。

イ 事件被害者家族からの感謝の手紙について

刑事部長から、殺人事件の被害者家族から、捜査第一課に宛てて、捜査に携わった捜査員に対する感謝の手紙が送付されてきた旨、報告があった。

委員から、「事件捜査での大変な苦労が、このような手紙を受け取ることで報われたのではないかと思われる。被害者家族の思いを糧に更に捜査に励まされたい。」旨、発言があった。

他の委員から、「とても良い話だ。組織として共有し、今後の捜査の励みとしてほしい。」旨、発言があった。

(9) 本部長挨拶（総括）

本部長から、「4月20日付で異動することになったが、これまで公安委員の皆様により御指導いただいたこと、深く感謝申し上げます。学生時代に過ごした思い出深い京都で本部長を務めることができ、非常に感慨深いものがある。部下職員にも恵まれ、全体として府警察を運営することができた。餃子の王将社長殺人事件や精華大生殺人事件等が未解決であることが心残りであるが、今後の府警察の活躍に託したい。来週から、筒井本部長が着任するが、組織として正しい道を進むため、引き続き公安委員の皆様により御指導願いたい。」旨、発言があった。

委員から、「上野本部長には、短い間ではあったが、スムーズな公安委員会の運営に尽力いただいた。本部長としては、コロナ禍で思うような警察運営ができないところ、頑張っていた。新たな場所に移られても京都のことを忘れず、今後とも活躍いただきたい。」旨、発言があった。

3 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

4 聴聞

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、21件の行政処分を審議した。